

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	反復性膀胱炎に対するD-マンノースの有効性と安全性		
1. 研究の目的と方法	反復性（くりかえす）膀胱炎に対する治療として、しばしば抗生剤が使用されていますが、抗生剤の頻回投与による耐性菌（抗生剤が効かなるくなること）の発生が社会的問題となっています。海外の尿路感染症ガイドラインでは反復性膀胱炎に対してD-マンノースやクランベリーの内服が推奨されており、食品としてすでに市販されています。一方、本邦ではその有効性を示す医学的な根拠はなく、ガイドラインにも記載されておりません。そこで、本研究は反復性膀胱炎の患者さんにおけるD-マンノース内服前後1年間の膀胱炎にかかった回数を調査することによって、本邦におけるD-マンノースの有効性と安全性を明らかにすることを目的としております。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年8月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	(1) 2018年2月1日～2023年1月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院の泌尿器科を受診し、反復性膀胱炎の診断を受けた方のなかで、その後にD-マンノースを内服している方 (2) 18歳以上の成人の方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、既往歴、疾患情報、検査結果（尿検査、尿培養検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座
		氏名	古田 昭
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座 五十嵐太郎	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年4月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座 研究責任者：准教授 古田 昭（ふるた あきら） 電話番号：03-3433-1111（内線 3561） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。